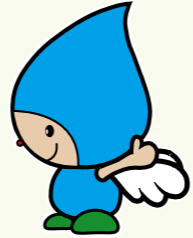


## 流域連携基金イメージソング

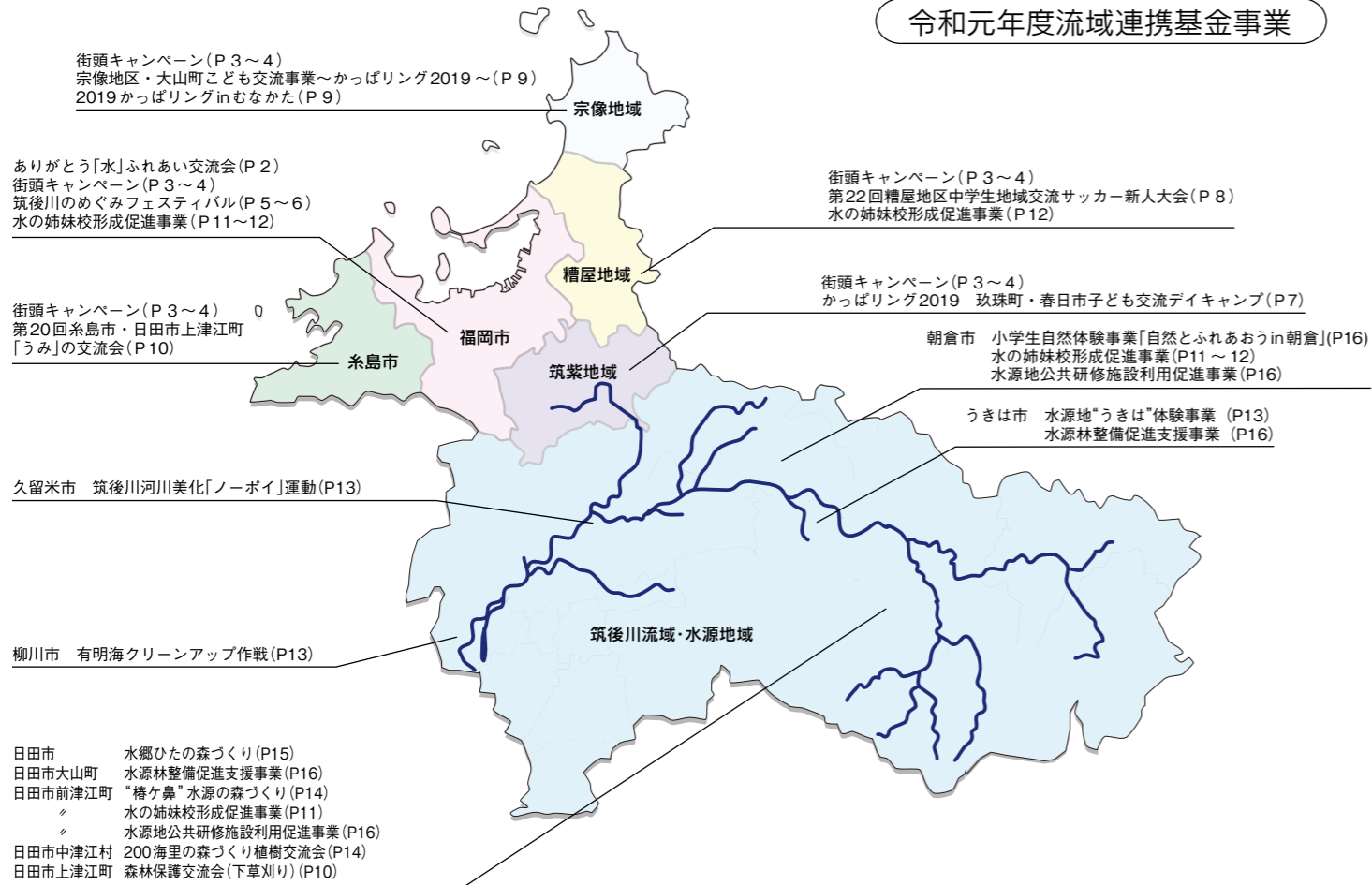
筑後川にて 作詞、作曲、歌/加藤淳也 (シンガーソングライター、ラジオパーソナリティ/那珂川市出身)

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 水面に映る空の青に あなたをかさねてみた<br/>元気でいますか? 変わりはないですか?<br/>今日もどこかで笑ってますか?</p> <p>河川敷から投げた石が 水のうえ走ってく<br/>うまくいなくて ぶてくされたりして<br/>人は今日だって育まれる</p> <p>とめどなく とめどなく<br/>流れ続ける中で 守られる景色も そそがれる愛も<br/>全部全部 感謝しよう</p> <p>筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる<br/>森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ<br/>人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?<br/>そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの</p> | <p>2 土手にしゃがんだ筑後の花火 みんなで見上げながら<br/>夜空ハジケタ 誰かさんの記憶<br/>水辺で見つけた少年の笑顔</p> <p>街の灯りが優しくうつる 流れをながめながら<br/>虫の鳴き声 季節を越えていく<br/>清らかさゆえに育まれる</p> <p>いつだって いつだって<br/>ゆるやかに優しく 守られる景色も そそがれる愛も<br/>全部全部 感謝しよう</p> <p>筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる<br/>森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ<br/>人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?<br/>そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの</p> <p>筑後川がせせらいでる まだ見ぬあなた想ってる<br/>森のめぐみ 海のめぐみ それをつないでる川のめぐみ<br/>人の出会いとよく似てる まだ見ぬ友よ元気でいますか?<br/>そんなふう生きてるから 川の流ればあなたそのもの</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



※福岡都市圏ホームページ (<https://www.fukuoka-tosiken.jp/>) でダウンロードできます。ぜひお聴きください。

### 令和元年度流域連携基金事業



#### 事業組合 構成

福岡地域/福岡市  
筑紫地域/筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川市  
糟屋地域/古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町  
宗像地域/宗像市・福津市  
糸島地域/糸島市

#### 編集・発行

福岡都市圏広域行政事業組合  
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1  
TEL 092-733-5004 FAX092-733-5005  
[ホームページ] <https://www.fukuoka-tosiken.jp/>

発行/令和2年3月  
印刷/株式会社 西日本高速印刷

令和元年度

福岡都市圏広域行政事業組合

# 流域連携基金事業 実施レポート

交流推進

地域振興  
支援

森林保全  
支援

環境対策  
支援



流域連携基金キャラクター  
「ちっこりん」

福岡都市圏の水道水の約1/3は、  
筑後川の水です。

# ご挨拶

福岡市・筑紫地域・糟屋地域・宗像地域・糸島市を圏域とする福岡都市圏の17市町で設立した福岡都市圏広域行政事業組合は、圏域に共通する行政課題に対応するため、様々な事業を共同で実施しています。

現在250万を超える人々が暮らしている福岡都市圏は、大きな川がないなど地理的に水資源に恵まれず、私達の生活に欠かせない水道水の約3分の1を筑後川から取水しています。圏域の安定的な水道水の供給は、ひとえに、筑後川流域及び水源地域の住民の皆様のご理解とご協力によって保たれています。

その筑後川流域及び水源地域では、ここ数年、毎年のように大雨による被害を受けており、昨年8月にも佐賀県を中心に大雨による甚大な被害が発生している状況です。被害に遭われたすべての皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、皆様が厳しい自然とも向き合いながら、筑後川の環境を大切に守り育てていただいていることへ感謝の気持ちを新たにしております。

当事業組合では、森林の保全や河川の清掃活動、水の学習等を通じて、福岡都市圏と筑後川流域及び水源地域の住民の皆様と交流・連携し、相互理解を深めることを目的に、「流域連携基金事業」を行っております。

福岡都市圏の住民の皆様には、これからも筑後川のめぐみへの感謝を忘れずに、水を大切に使用していただくとともに、次世代を担う子どもや若い世代が今以上に水環境に関心を持って、森や川を守り育てる活動にチャレンジしてほしいと思います。

今後とも、筑後川流域及び水源地域との交流・連携を積極的に進めてまいりますので、皆様方のご理解となお一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

令和2年3月

福岡都市圏広域行政事業組合  
管理者 高島 宗一郎



# 目次

## 交流推進事業

福岡都市圏「水」キャンペーン2019  
ありがとう「水」ふれあい交流会…………… 2P  
街頭キャンペーン…………… 3～4P

筑後川のめぐみフェスティバル…………… 5～6P  
かっぱリング事業…………… 7～10P  
水の姉妹校形成促進事業…………… 11～12P

水源地“うきは”体験事業…………… 13P  
有明海クリーンアップ作戦…………… 13P  
筑後川河川美化「ノーポイ」運動…………… 13P  
“椿ヶ鼻”水源の森づくり…………… 14P  
200海里の森づくり植樹交流会…………… 14P  
水郷ひたの森づくり…………… 15P  
大山ダム水源地域上下流交流事業（植樹祭）…………… 15P

## 森林保全支援事業

水源林整備促進支援事業…………… 16P

## 地域振興支援事業

小学生自然体験事業…………… 16P  
水源地公共研修施設利用促進事業…………… 16P

## 環境対策支援事業

環境対策支援補助金交付団体…………… 17P  
災害見舞金…………… 18P  
流域連携基金審議会…………… 18P  
流域連携基金条例・施行規則…………… 18P  
流域連携基金「イメージソング」…………… 裏表紙  
令和元年度流域連携基金事業実施場所…………… 裏表紙

## 福岡都市圏「水」キャンペーン2019 ありがとう「水」ふれあい交流会

●実施日/令和元年8月2日(金)  
●実施場所/福岡タワー、海水淡水化センター 他

福岡都市圏(41名)とうきは市立吉井小学校(42名)の小学校5・6年生が、福岡タワーや海水淡水化センター(まみずピア)、マリンワールド海の中道での交流会やクイズ大会、施設見学を通して、水の大切さを学びながら交流を深めました。



### 福岡タワー

自己紹介も兼ねた手作り名刺の交換をした後、福岡都市圏と筑後川流域にある日田市が、水を通してつながっていること等をクイズ大会を通して学びました。また、展望室に上がり、福岡都市圏の景色を一望しました。



### まみずピア

海水淡水化の仕組みを学んだ後、施設を見学しました。「海水淡水化水」と「水道水」の飲み比べも行いました。



### マリンワールド

楽しみにしていたイルカやアシカのショーや迫力満点の大水槽の生き物に子ども達も大興奮でした。



### 福岡都市圏「水」キャンペーン2019 街頭キャンペーン

- 実施日/令和元年8月1日(木)~8月6日(火)
- 実施場所/福岡都市圏各市町

福岡都市圏の各市町では「水の週間」にあわせ、市・町長をはじめ職員283名が住民に福岡都市圏「水」キャンペーン2019のチラシと有明海産「福岡有明のり」を配付しながら、「水をたいせつに」の呼びかけを行いました。(都市圏全体で19,000部配布)



#### 福岡市

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR博多駅
- 実施者/福岡市副市長・九州地方整備局企画部長・福岡県水資源対策長(独)水資源機構筑後川局長・福岡市水道事業管理者・福岡市水道サービス公社理事長・福岡地区水道企業団副企業長・福岡親善大使



#### 古賀市

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR古賀駅、サンリブ古賀店、ルミエール古賀店
- 実施者/市長・建設産業部長



#### 宇美町

- 実施日/令和元年8月6日
- 実施場所/JR宇美駅及び周辺
- 実施者/副町長・上下水道課長



#### 篠栗町

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR篠栗駅
- 実施者/副町長・上下水道課長



#### 志免町

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/ルミエール志免店、ザ・ビッグ福岡空港東店
- 実施者/町長



#### 須恵町

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR須恵中央駅、トレードマート須恵店
- 実施者/町長・副町長・上下水道課長



#### 新宮町

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR新宮中央駅、JR福工大前駅
- 実施者/町長・副町長・上下水道課長



#### 筑紫野市・山神水道企業団

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR二日市駅、JR原田駅、西鉄二日市駅、ゆめタウン筑紫野
- 実施者/市長・環境経済部長・上下水道料金総務課長・上下水道工務課長・事務局長・総務課長



#### 春日市

- 実施日/令和元年8月2日
- 実施場所/西鉄春日原駅、JR春日駅
- 実施者/市長・副市長・経営企画部長・経営企画課長・下水道課長



#### 大野城市

- 実施日/令和元年8月5日
- 実施場所/イオン大野城店
- 実施者/市長・上下水道局長・上下水道局各課長



#### 久山町

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/トリアス久山
- 実施者/副町長



#### 粕屋町

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/ミスターマックス粕屋店
- 実施者/町長・副町長・部長



#### 太宰府市

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/ルミエール太宰府店、西鉄都府楼前駅
- 実施者/市長・都市整備部長・上下水道課長・上下水道施設課長



#### 那珂川市

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR博多南駅、I-77那珂川店、サニー那珂川中原店
- 実施者/市長・副市長・総務部長・経営企画課長



#### 春日那珂川水道企業団

- 実施日/令和元年8月1日・2日
- 実施場所/JR博多南駅、西鉄春日原駅、JR春日駅
- 実施者/企業長・副企業長・局長・総務課長・料金課長・水源対策課長・施設課長・建設課長・浄水課長



#### 宗像地区事務組合(宗像市)

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR赤間駅
- 実施者/宗像市長・次長・課長



#### 宗像地区事務組合(福津市)

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/JR福間駅
- 実施者/福津市長・局長



#### 糸島市

- 実施日/令和元年8月1日
- 実施場所/イオンスーパーセンター志摩店、JR波多江駅、JR筑前原駅
- 実施者/市長・副市長・上下水道部長・水道課長・下水道課長



## 筑後川のめぐみフェスティバル

- 実施日／令和元年10月19日（土）～20日（日）
- 実施場所／福岡市役所ふれあい広場

福岡都市圏で使用する水道水の約3分の1を筑後川に頼っていることを都市圏住民に知っていただき、筑後川への「感謝」の気持ちを育てることにより、筑後川流域の方々との交流や川や森を守り育てる活動につなげるため、フェスティバルを開催しました。



## 飲水思源コーナー



福岡市水源林ボランティアの会



利き水コーナー



筑後川ダム統合管理事務所

## オープニングセレモニー



右から ちっこりん、日田市・朝倉市（2名）の各観光大使、福岡地区水道企業団 諫山和仁企業長、大野城市 井本宗司市長、春日市 井上澄和市長、福岡市 光山裕朗副市長、福岡市水道局 清森俊彦水道事業管理者、柳川市・大川市（2名）の各観光大使

## 筑後川流域交流物産展

筑後川流域や水源地域にある17市町村が参加  
 [福岡県] 柳川市、八女市、広川町、大川市、久留米市、大刀洗町、朝倉市、東峰村  
 [佐賀県] 神埼市、吉野ヶ里町、みやき町、鳥栖市、基山町  
 [大分県] 日田市、玖珠町  
 [熊本県] 小国町・南小国町（ASO おぐに観光協会）



## ステージイベント

観光PRステージ&大抽選会  
 筑後川流域の市町村がステージで観光PRを行いました。各地域の特産品が当たる抽選会も行われました。（写真は左から柳川市、朝倉市、神埼市、東峰村、この他にも多くの市町村が観光PRに参加されました。）



fumika



Mc Tatami



ビーグルクルー



梅谷心愛

19日は「fumika」さん、畳屋ラッパーの「Mc Tatami」さん、20日は「ビーグルクルー」さんのライブステージ、そして「梅谷心愛」と「加藤淳也」さんは2日ともに「歌謡ショー」を行ってくれました。その他にも「城島龍神太鼓」、「あさくら橘太鼓」や「Ms' SEA」のファッションショーなども披露されました



あさくら橘太鼓



久留米城島龍神太鼓



Ms'SEA ファッションショー



加藤淳也



令和元年8月の前線に伴う大雨で大きな被害を受けた筑後川流域の市町を応援するため、募金活動も行いました。

かっぱリング事業(筑紫地域)  
かっぱリング2019  
玖珠町・春日市子ども交流ディキャンプ

- 実施日/令和元年7月26日(金)
  - 実施場所/五ヶ山クロスキャンプサイト、五ヶ山ダム
  - 参加者/春日市26名、玖珠町22名 合計48名
- 春日市の小学6年生と玖珠町の小学4年生・5年生・6年生の子どもたちが、五ヶ山クロスキャンプサイトでの交流会、五ヶ山ダム見学を通じて、水資源の大切さを学びました。

参加者の声  
福岡都市圏

和田 妃奈子さん  
玖珠の人たちと一緒に交流ができ、貴重な体験ができて、とても心に残り、楽しかったです。五ヶ山ダムを実際見てみると、大きくて、これだけしか水がないと感じ、もっと水を大切にしようと思いました。実際に見たり、感じたりすることは大切だと感じました。

参加者の声  
筑後川流域

佐藤 悠理さん  
最初は春日市の皆と仲良くなれるか心配だったけど、明るくて、とても楽しかったです。五ヶ山ダム見学では、今まで以上に水を大切にしようと思いましたが、限りのある水を増やしたいと思いました。

担当者の声

春日市役所 経営企画課 園田 菜穂子さん  
当日は天気にも恵まれ、気温が35度を超える猛暑でしたが、子どもたちは協力して準備を行い、笑顔でバーベキューを楽しむ姿が見られました。五ヶ山ダム見学では、ダムの高さや大きさに多くの子どもたちが驚いていました。また、職員に質問するなど、積極的に水資源の大切さを学ぼうとする様子も見られました。後日、「交流会が楽しかった。」「もっと水を大切にしようと思った。」という感想を多く頂き、大変うれしく思います。最後に、参加者の皆様、交流会開催に際してご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



「かっぱリング」とは？

福岡市を除く福岡都市圏の地域を4つの地域(筑紫地域、糟屋地域、宗像地域、糸島市)に分け、文化やスポーツ、水源地域での植樹などを通じて、筑後川流域と福岡都市圏の地域又は自治体単位で行う住民同士の交流事業(福岡都市圏筑後川流域交流推進事業)を「かっぱリング」と呼んでいます。

「かっぱリング」の由来

「かっぱ」で代表される筑後川と交流の輪(リング)を広げ、筑後川流域と福岡都市圏市町の「カップリング」(2つのものの組合せ)を進めるという意味を込めて「かっぱリング」と名付けました。



かっぱリング事業(糟屋地域)  
第22回糟屋地区中学生  
地域交流サッカー新人大会

- 実施日/令和元年8月24日(土)～25日(日)
- 実施場所/糟屋地区8会場  
粕屋中学校・古賀北中学校・久山中学校・新宮中学校・篠栗北中学校・宇美南中学校・須恵中学校・カプトの森グラウンド【メイン会場】
- 参加者/筑後地区8チーム・糸島地区3チーム・宗像地区5チーム・筑紫地区5チーム・福岡地区12チーム・佐賀県1チーム・筑豊地区2チーム・京築地区1チーム・糟屋地区17チーム 合計54チーム

参加者の声  
筑後川流域

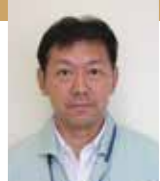
本田 礼以さん  
今回は、このような素晴らしい大会に招待していただきありがとうございました。とても充実した大会となりました。今回のかっぱリング交流サッカー大会を通して、福岡都市圏には大きな河川がなく、水資源が少ないために日頃使っている水道水のおよそ3分の1が筑後川からきているということをこの大会で初めて知りました。今回、このことを知ったことで水の大切さや筑後川の重要性をくわしく知ることができました。筑後川がなければ3割の水はなくなってしまうということを知り、本当に筑後川に感謝していかなければならないのだと感じました。

参加者の声  
福岡都市圏

樋口 遙耶さん  
ぼくは、この前の練習試合で骨折してしまいました。ぼくは、大会に出られないと思っていたけど先生に「出たい」と言って試合に出ることができてうれしかったです。大きな大会で優勝することができてうれしかったです。ぼくは、この大会で三つ学びました。一つ目はどんな時でも手をめかず全力ですということです。優勝が決まっていたにもかかわらず、みんな本気でプレーし見事、全勝優勝というタイトルがとれてうれしく、達成感がありました。二つ目は、地域の方々に感謝するということ。地域の方々の協力がなければこの大会がなかったので感謝しかありません。三つ目は、みんなで勝ち取ったタイトルのうれしさです。この大会に参加することができたのも、水を中心に自分たちがたくさんの人とつながっているからだとなりました。自分たちが、日頃、利用している水を大切にすることで感謝の気持ちを示していきたいと思います。

担当者の声

久山町 上下水道課 平尾 勇さん  
今年、曇り空の中での開催となり、比較的涼しさを感じながら開催となりましたが、試合では、子どもたちが一生懸命にボールを追いかけ非常に白熱したプレーが繰り広げられました。水とサッカーのつながりにより開催されたこの大会により、筑後川流域との交流も進み、筑後川への恵みに対する感謝も深まったものと思います。今後も、このつながりを大切に、交流が深まっていくことを期待しています。最後に、この大会の開催に際して、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



かっぱリング事業(糸島市)  
森林保護交流会(下草刈り)

- 実施日/令和元年7月4日(木)、令和元年10月25日(金)
- 実施場所/大分県日田市上津江町(上津江フィッシングパーク)
- 参加者/日田市上津江町3名、糸島市12名、合計15名



かっぱリング事業(糸島市)  
第20回糸島市・日田市上津江町「うみ」の交流会

令和元年7月4日(木)・10月25日(金)に森林保護交流会、令和元年7月27日(土)には第20回糸島市・日田市上津江町「うみ」の交流会を実施しました。森林保護交流会では、日田市上津江振興局とともに、第19回糸島市・日田市上津江町「もり」の交流会で子ども達と植樹したエリアを中心に草刈りを行いました。第20回糸島市・日田市上津江町「うみ」の交流会では、DVDを教材とした水に関する勉強会や日田天領水・海水淡水化センターの水

- 実施日/令和元年7月27日(土)
- 実施場所/糸島市(初音旅館)
- 参加者/日田市上津江町25名、糸島市34名、合計59名

(海水から作った飲料水)・糸島市の水道水を飲み比べて、答えを予測する利き水クイズを行いました。子ども達は、真剣にDVDを観ており、利き水クイズにおいて、賑やかに班員と相談しながら解答を考えていました。その後のバーベキューや海水浴、アイスブレイクについても子ども達同士で楽しそうに交流を深めていました。今回の事業を通して子ども達は水について学習でき、また上津江と糸島の地域間の交流も図ることで有意義なものとなりました。

参加者の声 福岡都市圏

秋根 甘奈さん  
海の交流会かっぱリングを通して思ったことは筑後川の長さとお水の多さです。福岡県、大分県を通っていることは知っていましたが、熊本県まで通っていたと聞いておどろきました。また、海岸そうじ、海水浴とバーベキューも楽しかったです。海岸そうじの時にゴミが多くてびっくりしました。これからも海をもっと大切にしたいです。

参加者の声 筑後川流域

麻生 梨名さん  
私は、2回目のかっぱリングで、糸島は最初で最後だったけど、とても楽しかったです。海の水をもとにして作られた水は、何も知られず飲んだら真水と間違えてしまうと思います。まだ海の水をふつうの水にかえれる所は一部の場所にしかないからもっと増やしたら雨がふらない時も水不足が解消できると思いました。いろんなじゅんびをしてくれたみなさん、ありがとうございました。

担当者の声

糸島市上下水道部水道課  
河原 有佑さん  
第20回糸島市・日田市上津江町「うみ」の交流会を糸島市・日田市総勢59名の方に参加をいただき、快晴のなか開催することができました。交流会では、水に関する勉強会を開き、福岡都市圏の水道水がどのようにして作られているか、DVDを見ながら勉強してもらいましたが、子ども達はみな真剣な顔つきで、時おり笑い声もあげながら見ていました。その後の水道水にまつわるクイズでも積極的に発言するなど、子ども達の前向きな姿勢に感激しました。また勉強会後の海岸清掃やバーベキュー、海水浴でも、思いきり「うみ」を満喫できたようです。後日送られてきた感想文には、「海岸そうじのときにゴミが多くてびっくりした。これからも海をもっと大切にしたい。」や「海の水をふつうの水にかえられるところは一部の場所にしかないから、もっと増やしたら雨が降らない時も水不足が解消できると思った。」などの感想もあり、本交流会を通して水の大切さや筑後川と福岡都市圏のつながりについて学んでいただけたと感じています。最後に、参加者の皆様、本交流会にご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



かっぱリング事業(宗像地域)  
宗像地区・大山町  
子ども交流事業  
~かっぱリング2019~

- 実施日/令和元年9月28日(土)
  - 実施場所/宗像市「宗像ユリックス」「多礼浄水場」「宗像大社」
  - 参加者/日田市大山町23人、宗像地域29人 合計52人
- 水源である日田市大山町の「大山公民館チャレンジ教室」の子ども達と、宗像地域の子どもの交流。  
宗像ユリックスにおいて紙飛行機作り挑戦し、班ごとの対抗戦を実施することで初めて会った子ども達が打ち解けあった後、多礼浄水場での施設見学やクイズをとおり、水道に対する理解を深め、水の大切さを学び、世界遺産である宗像大社を見学することで宗像市の歴史を学びました。

参加者の声 福岡都市圏

亀田 萌那さん  
水がきれいになるためには、すごく大変だったことがわかった。水はもっと大切に扱わないといけないと思った。大分の友達ができうれしかった。紙飛行機も優勝できうれしかった。参加できるのは最後だけ、いい思い出になった。

参加者の声 福岡都市圏

後藤 凜愛さん  
水は蛇口をひねれば必ず出てくると思っていたけど、その裏にはたくさんの人の努力があるんだなと思いました。とても楽しかったです。普段使っている水の大切さについて気付くことができました。

担当者の声

宗像地区事務組合 総務課  
権現 陽子さん  
初めて顔を合わせた時は、お互いに緊張しているようでしたが、紙飛行機を飛ばすようになると、みんな笑顔で声を出し合っていました。浄水場見学では、実験や班対抗クイズで意見を出し合い楽しみながら取り組み、水の大切さについて学ぶことができました。宗像大社では、説明を受けながら興味深そうに見学していました。みんな楽しそうに学べていたのでとてもいい交流になったと思います。



参加者の声 筑後川流域

黒木 颯良さん  
たくさん苦労して水をきれいにしていたので、ありがたみがわいた。たくさんのお話を聞いてよかった。クイズが楽しかった。

参加者の声 筑後川流域

河津 歩暉さん  
水をきれいにするために、とても時間がかかっているのが大切にしたい。水や紙飛行機など色々なことを学べたので良かった。



かっぱリング事業(宗像地域)  
2019かっぱリングinむなかた  
~和太鼓とダンスのコラボ公演~

- 実施日/令和元年11月16日(土)
  - 実施場所/宗像市「道の駅むなかた」「海の道むなかた館」「宗像大社」
  - 参加者/朝倉地区29人、宗像地区42人 合計71人
- 宗像市、道の駅むなかた「秋の一日子ども広場」のイベント会場において、かっぱリング事業を実施。朝倉市馬田和太鼓と宗像市リズムダンス教室のコラボ公演を行った。和太鼓の演奏とダンスの公演の中で、かっぱリング事業の説明を行い、最後は「筑後川にて」を歌って踊る等、広く市民に向けて交流事業の意味を知ってもらう機会も得た。公演後は、海の道むなかた館にて世界遺産について学び、関連遺産である宗像大社を参拝した。

参加者の声 福岡都市圏

竹本 きらりさん  
普段はあまり考えずに飲んだり使ったりしていたけれど、かっぱリングを通して筑後川から水をもらっていることなどを知ることができました。朝倉の太鼓のチームの人たちと仲良くなれたのでとても良かったです。また、かっぱリングの意味を知ることができました。

参加者の声 福岡都市圏

吉武 陽菜里さん  
大切な水だと思えます。宗像には長い川が少なく、釣川約16kmの短い川だから、宗像に水を分けてくれている筑後川に感謝しています。朝倉の人たちと楽しい発表ができたので、良かったと思います。太鼓の人たちはとても揃っていてもすごくいい演奏でした。

担当者の声

宗像地区事務組合 総務課  
仲 拓哉さん  
道の駅むなかたでは、宗像のダンスと朝倉の和太鼓のコラボイベントを行った。和太鼓は単体でも迫力があつたが、ダンスと共演することで、さらに見ごたえのあるものとなった。当日は天気も良く、イベント自体も集客できていたので、市民への良い周知の機会となった。海の道むなかた館では、世界遺産である沖ノ島についてのシアターを鑑賞し、世界遺産について学んだ。宗像大社では、参拝した後に、両代表者が挨拶を行った。終始和やかな雰囲気、子ども達にとっても貴重な経験になったと思う。



参加者の声 筑後川流域

鹿毛 菜々美さん  
普段使っている水について、大切なものだなと思った。他の地域の方と交流できて、とても良い経験でした。

参加者の声 筑後川流域

保坂 しゅんたさん  
水はいつも使っているから大切だと思った。太鼓踊りがコンピネーションしているところがすごいと思いました。



## 水の姉妹校形成促進事業

「水」でつながっている福岡都市圏の小学校と筑後川流域の小学校が、一緒に「水」に関する交流・学習を行いながら「水の大切さ」や「森を守り育てることの大切さ」を学び、福岡都市圏と筑後川流域の将来にわたる「相互理解」の促進につなげています。

### ● 福岡市立堅粕小学校（188名）－日田市立前津江小学校（27名）（4～6年生 87人）

交流日 ①令和元年7月12日（金）／②令和元年9月4日（水）

- ①前津江小の全校生徒は堅粕小を訪れ、1～2年生は水道局の方から浄水場の役割についての学習を行い、3～6年生はLIXIL福岡の方からトイレの歴史についての学習を行った。
- ②堅粕小の4～6年生は、日田市前津江で前津江小の全校生徒と一緒に、梅木川でヤマメの放流や大山ダムの見学、シオジ原生林の散策など、筑後川の水源地の自然を学びながら交流を深めることができました。



### ● 福岡市立春住小学校（105名）－朝倉市立三奈木小学校（30名）

交流日 ①令和元年10月15日（火）／②令和元年11月27日（水）

- ①春住小の4年生が、三奈木小でレクリエーションや学校の敷地内に流れている小川の散策を行いながら、朝倉の自然や水の豊かさを学んだ後、江川ダムや小石原ダムを見学するなど交流を深めました。
- ②三奈木小の4年生が、春住小で、水に関する取り組みをみんなで一緒に勉強した後、まみずピアや御笠川浄化センターなどを見学し交流を深めることができました。



### ● 福岡市立北崎小学校（53名）－朝倉市立秋月小学校（57名）

交流日 ①令和元年7月25日（木）／②令和元年11月22日（金）

- ①両校の6年生は、朝倉市の秋月で、秋月城下の探索や紙すきを体験し、山里の水の文化を中心に交流しました。同日に5年生は福岡市の北崎で、海釣り公園での魚釣りや海辺でのシュノーケリングの体験学習、海洋環境について学習し交流を深めることができました。
- ②両校の4年生は、朝倉市の小石原ダムで合流し、ダムの見学などを通して、水の文化、行政の役割について学習しながら交流を深めることができました。



### ● 久山町立久原小学校（63名）－朝倉市立福田小学校（18名）

交流日 ①令和元年6月28日（金）／②令和元年10月25日（金）

- ①久原小の4年生が福田小で、学校紹介やレクリエーションで交流を深めた後、全員で寺内ダムや水の文化村、浮羽歴史民俗資料館の見学を行いました。
- ②福田小の4年生が、久原小で水に関する学習の実践紹介と意見や質問で相互交流を行い、久山養蜂場見学を行いました。互いの地域を紹介しあうことで自分の住む町への理解が深まり、愛着を持つことができました。



## 水源地「うきは」体験事業

- 実施日/令和元年5月11日(土)
- 実施場所/うきは市(長野水神社、山春地区、道の駅うきは)
- 参加者/福岡都市圏住民76名

神社の見学、茶摘み・いちご狩り体験を通して、筑後川の水と共生してきた歴史や自然豊かな「うきは市」について理解を深め、環境保全や水の大切さを改めて理解しました。



### いちご狩り体験

うきは市は、フルーツ王国としても有名です。その中で、今回は、いちご狩りを行いました。自然豊かなうきは市で育ったいちごをいただきました。



### 長野水神社見学

江戸時代初期、筑後川の水を利用するために命を懸けて大石堰・長野用水を作った5人の庄屋を祀った神社です。堰・用水の完成は、うきは地方に新たな恵みをもたらしました。熊抱宮司から昔の筑後川の様子なども含めてお話を聞きました。



### 茶摘み体験

今ではとても希少となった日本古来の実生在来茶園にて、とても貴重な茶葉を摘ませていただきました。今回は、摘んだばかりの新鮮な茶葉を、その場で天ぷらにさせていただきました。



## 「椿ヶ鼻」水源の森づくり

- 実施日/令和元年10月5日(土)
  - 実施場所/日田市(大山ダム、スノーピーク奥日田キャンプフィールド)
  - 参加者/福岡都市圏(高校生37名)、日田市(高校生11名)、引率者各1名
- 福岡都市圏と日田市にそれぞれ住む高校生(博多工業高校、福岡農業高校、日田林工高校)が、大山ダム施設見学を通して水源地との関わりや水の大切さを理解し、間伐体験を通して山を守り育てることの大切さを学び、交流を深めました。

### 大山ダム見学

ダムの構造や役割について説明を受けながら、ダムの見学を行いました。



### 枝打ち体験

手入れがされていない森の中に切り倒されたままになっている木々の枝を切り落とすという作業を、参加者全員で行い、森を綺麗にしました。



### バーベキュー交流会

枝打ち作業を行った後のバーベキューは、格別においしく、交流もより一層深まりました。



## 200海里の森づくり植樹交流会

- 実施日/令和元年11月9日(土)
- 実施場所/日田市中津江村鯛生金山
- 事業主催/200海里の森づくり植樹交流会実行委員会
- 参加者/筑紫野市22名、志免町21名 総数43名

筑後川水源地域の森を守り、有明海の魚や海苔を育てる豊かな水環境づくりを目的とした「200海里の森づくり植樹交流会」に参加し、筑後川の源流となる鯛生金山の日田市所有山林に植樹を行いました。



## 有明海クリーンアップ作戦

- 実施日/令和元年8月22日(木)
- 実施場所/柳川市久間田漁港
- 事業主催/国土交通省九州地方整備局
- 参加者/福岡都市圏職員26名

有明海に注ぐ筑後川河口で行われた「有明海クリーンアップ作戦」は、有明海沿岸4県が連携し、有明海の水環境保全の大切さについて、理解を深めるための一斉清掃活動です。柳川市で行われた作業に福岡都市圏職員も参加し、地元の漁協組合の皆さんや関係団体等から約130名が参加し、漁港周辺に散乱しているゴミを回収しました。



## 筑後川河川美化「ノーポイ」運動

- 実施日/令和元年10月27日(日)
- 実施場所/久留米市 筑後川河川敷
- 事業主催/国土交通省九州地方整備局
- 参加者/福岡都市圏職員23名

本年度で34回目を数える筑後川河川美化「ノーポイ」運動は、河川美化、愛護運動の一環として、河川へのごみ投棄防止の啓発と、有明海へのゴミの流出等の対策として実施されている清掃活動で、福岡都市圏自治体職員も参加しました。地元住民や関係団体等から約1,000名が参加し、堤防や河川敷に投棄されたごみの回収を行いました。



### 植樹交流

ヤマザクラやヤマモミジの苗木約250本を植樹し、各々手づくりのネームプレートを下げました。



### 金山体験

砂金採りや坑道入坑を体験し、鯛生金山の歴史などを学びました。



### 昼食交流

バーベキューをおいしく食べながら、参加者同士交流を図りました。



### 職員



筑紫野市  
岡本さん・横尾さん・高原さん



志免町  
吉村さん・深蔵さん



### 水郷ひたの森づくり

- 実施日/令和元年11月23日(土)
- 実施場所/日田市 萩尾公園(植樹会場) 豆田町(散策)
- 参加者/福岡都市圏の住民74名



「水源の涵養」、「土砂災害の防止」などの森林が持つ公益的機能を守り育てるとともに、森林保全への理解を深めることや、筑後川上下流域との交流を推進し、流域全体で水源保全に取り組む契機とするために日田市が主催している「市民参加の森づくり」に福岡都市圏からも参加し、日田市民の方と一緒に筑後川への感謝を込めながら植樹をし、天領時代の古い町並みが残っている豆田町を散策しました。

### 植樹

「ケヤキ」「ヤマモミジ」「ヤマザクラ」など9種類の苗木を合計で1,300本植樹しました。



### 豆田町散策

天領時代の古い建物や町並みが数多く残る豆田町を散策し、お買い物も楽しみました。



### 大山ダム水源地域上下流交流事業 (植樹祭)

令和元年2月22日(土)に日田市大山町にて実施される予定でしたが、諸般の事情により中止となりました。

### 森林保全支援事業 水源林整備促進支援事業

●実施場所/日田市 うきは市



福岡都市圏共通の水源ダムである大山ダム(日田市)、合所ダム(うきは市)の地元自治体と共同で、ダム集水区域内の水源林保全を行いました。日田市、うきは市と共に間伐等を行いました。

### 地域振興支援事業 小学生自然体験事業 「自然とふれあおうin朝倉」

- 実施日/令和元年8月23日(金)
- 実施場所/朝倉市(寺内ダム、あまぎ水の文化村)
- 参加者/76名 宗像市の小学4~6年生37名、朝倉市の小学4~6年生39名

福岡都市圏の宗像市に住む子どもたちと朝倉市の子どもたちに、交流をととして水と自然の大切さを知ってもらおうと、朝倉青年会議所の協力を得て小学生自然体験事業「自然とふれあおうin朝倉」を実施しました。

### 木工体験

水遊びの際にも楽しめるように、「モーター船」を作りました。班ごとに分かれ、オリジナルの船を作りました。



### H29.7月九州北部豪雨に関する勉強会

豪雨時の状況や被害が大きくなった原因、その後の復旧作業や豪雨時の対策について勉強会をしました。



### 寺内ダム見学

ダムの役割などの説明を聞いた後に、監査廊(かんさろう)を見学しました。



### 水遊び

遊水パレットにて、木工体験で制作した「モーター船」の競争をしたり、水遊びをしました。



### 地域振興支援事業 水源地公共研修施設利用 促進事業

福岡都市圏にお住まいの方々が3名以上で対象となる公共研修施設を利用する際に、その利用額を助成し、水源地域の振興に寄与するとともに、住民レベルでの交流を促進しました。

●対象施設

名称	所在地	助成者数
たかき清流館	朝倉市	42名
スノーピーク奥日田キャンプフィールド	日田市前津江町	46名

(令和2年2月末時点)

## 環境対策支援補助金交付団体

筑後川流域(有明海を含む)において、環境保全活動を行う非営利活動団体(19団体)に対して、環境支援対策補助金として活動費の助成を行いました。

団体所在地／活動地域	補助団体名／補助活動名(活動場所等)
福岡都市圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福岡市水源林ボランティアの会 筑後川上流域の水源林保全活動と水源地域住民との交流活動</li> <li>○NPO法人 はかた夢松原の会 新流域交流連携事業 2019(※諸般の事情により中止)</li> <li>○地球お守り隊 地球を守る森林保全プロジェクト</li> </ul>
筑後川流域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筑後川まるごと博物館運営委員会 子ども自然と環境体験活動</li> <li>○エコアクト筑後川 筑後川エコアクトプログラム 2019「目指せ! 森と水の賢者!」</li> <li>○久留米の自然を守る会 野外での自然観察会の実施 環境に関する講演会や調査の実施及び機関誌の発行配布</li> <li>○石けんを広め自然環境を守る久留米市民の会 学習活動、石けん使用推進活動、石けん作り教室</li> </ul>
有明海	<ul style="list-style-type: none"> <li>○NPO法人 有明海再生機構 有明の海再生・創生に向けた科学的知見・活動内容の共有化と連携の推進 有明海への市民関心の啓発</li> <li>○NPO法人 有明海ぐるりんネット 有明海の新たな知見の蓄積と東よか干潟ビジターセンター設置へ協力活動</li> </ul>
水源	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安川地区 小石原川を美しくする会 小石原川及び野鳥川の除草作業</li> <li>○甘木町「小石原川を守る会」 小石原川の洪水敷の芝刈り・除草作業</li> <li>○秋月ふるさと倶楽部 小石原川清掃作業(安川地区)及び眼鏡橋草刈り作業(秋月地区)</li> <li>○グリーンウェイブ 朝倉水源の森実行委員会 第8回グリーンウェイブ朝倉水源の森創り</li> <li>○堀川の環境を守る会 第12回堀川クリーンアップ活動及び年間を通じた堀川用水清掃活動</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うきは市林業研究グループ うきはの森と楽しむ日</li> <li>○つづら棚田を守る会 棚田の保全活動</li> <li>○巨瀬川を守る会 巨瀬川を美しくする活動</li> <li>○うきは市「都市と山村交流」プロジェクト協議会 棚田の保全活動を通じた住民との交流事業</li> <li>○うきは市癒しの旅先案内人協会 森林セラピーロードを活用した森林環境教育活動と森林保全活動</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うきは市林業研究グループ うきはの森と楽しむ日</li> <li>○つづら棚田を守る会 棚田の保全活動</li> <li>○巨瀬川を守る会 巨瀬川を美しくする活動</li> <li>○うきは市「都市と山村交流」プロジェクト協議会 棚田の保全活動を通じた住民との交流事業</li> <li>○うきは市癒しの旅先案内人協会 森林セラピーロードを活用した森林環境教育活動と森林保全活動</li> </ul>



## 災害見舞金

「福岡都市圏流域連携基金による災害見舞金支給要綱」に基づき、令和元年8月の前線に伴う大雨で大きな被害を受けた地域に災害見舞金をお渡ししました。

[佐賀県]佐賀市、鳥栖市、神崎市、神埼郡吉野ヶ里町、三養基郡基山町、上峰町、みやき町

## 流域連携基金審議会

基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため審議会を設置しています。

令和元年度審議会開催状況

回数	開催日	議題	報告
第1回	令和元年7月4日	議題	令和元年度環境対策支援補助金(案)について 平成30年度水源林整備促進支援事業の実施状況について
第2回	令和2年1月10日	議題	令和2年度流域連携基金事業(案)について 令和元年度流域連携基金事業の実施状況について

審議会委員

区分	氏名	所属・役職	任期
会長	山下 三平	九州産業大学 建築都市工学部 教授	平成30年9月1日から 令和2年8月31日まで
副会長	相模 裕一	西南学院大学 経済学部 教授	
委員	笠原 玉青	九州大学大学院 農学研究院 准教授	
委員	臼杵 昭子	公益財団法人 那珂川市教育文化振興財団「ミリカローデン那珂川」館長	
委員	平 由以子	特定非営利活動法人 循環生活研究所 理事	

## 福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例

平成16年11月8日 条例第3号

- (設置) 第1条 福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等の支援事業を行って連携を図るとともに、もって相互理解を深めるため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金(以下「基金」という。)を設置する。
- (積立て) 第2条 基金として積み立てる額は、歳出予算をもって定める額とする。
- (管理) 第3条 基金に属する現金は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第241条第7項の規定により保管するほか、必要に応じ、最も確実かつ有利な有価証券に代えることができる。
- (運用益金の処理)
- 第4条 基金の運用から生じる収益は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携事業特別会計歳入歳出予算に計上し、福岡都市圏共通の水源地域及び流域に対して、交流推進事業や森林保全、環境対策、地域振興等を図るために必要な費用に充てるものとする。
- 2 前項の規定により必要な費用に充て、なお、剰余金があるときは、当該剰余金は、基金に積み立てるものとする。
- (繰替運用)
- 第5条 管理者は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法及び期間を定めて基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。
- (処分)
- 第6条 管理者は、基金の設置目的を達成するため必要があると認めるときは、これを処分することができる。
- (委任) 第7条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関し必要な事項は、管理者が定める。
- 附 則 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

## 福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例施行規則

平成17年3月22日 規則第7号

- (趣旨) 第1条 この規則は、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金条例(平成16年福岡都市圏広域行政事業組合条例第3号)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
- (対象地域等)
- 第2条 基金で実施する事業の対象地域は、福岡都市圏共通の水源地域及びその流域(有明海を含む。)とし、基金で実施する事業は、次の各号のいずれかに該当する事業とする。
- (1) 水源地域及び流域との文化、スポーツ、植樹祭等の交流推進事業
  - (2) 水源地域の育林、造林、その他荒廃林対策等への支援を行う森林保全事業
  - (3) 福岡都市圏地域住民の総合学習及び生涯学習の場として、公共的な研修施設等の利用又は活用を支援する地域振興支援事業
  - (4) 森林の育成及び保全に関する活動等による環境保全への支援を行う環境対策支援事業
  - (5) 前各号に掲げるもののほか、その他支援が適当と認められる事業
- (運営委員会及び審議会)
- 第3条 基金で実施する事項に関し、事業の選定及び事業の内容、計画等を審議するため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。
- 2 基金で実施する事項に関し、透明性及び公平性を図るため、福岡都市圏広域行政事業組合流域連携基金審議会(以下「審議会」という。)を設置する。
  - 3 審議会は、運営委員会で審議した事項に関し審査を行う。
  - 4 運営委員会及び審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。
- (規定外の事項)
- 第4条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し必要な事項は、福岡都市圏広域行政事業組合管理者が定める。
- 附 則 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 附 則 この規則は、平成27年4月1日から施行する。